

養浩館庭園 開園30周年記念

榎木孝明 朗読会「蛟竜逝キテ」 こうりゅうゆ

養浩館庭園開園30周年を記念して、俳優 榎木孝明氏による作家 赤神諒氏書き下ろし作品の朗読会を開催し、その様子を YouTube でライブ配信します。

- 1 日時 令和5年11月3日(金・祝) 19時00分 ~ 20時00分
- 2 場所 養浩館庭園 御茶屋建物 (福井市宝永3丁目 11-36)
- 3 観覧料 無料(入園料も無料)
- 4 主催 福井市
- 5 内容 本朗読会のために書き下ろされた短編小説『蛟竜逝キテ』を、俳優 榎木孝明氏の朗読と、二胡の旋律とともに楽しみいただきます。

出演：【朗 読】榎木孝明(えのきたかあき)氏

【二胡演奏】里地帰(さとちき)氏

朗読作品：短編小説『蛟竜逝キテ』* 著者 赤神諒(あかがみりょう)氏

※幕末前後の養浩館庭園を舞台に、福井藩主 松平春嶽と藩士 橋本左内、由利公正との交流が描かれた作品

- 6 その他 一般観覧者:定員20名程度(事前申込制・応募者多数の場合は抽選)

応募方法:本市ホームページの申込フォーム

応募締め切り:10月23日(月)15時まで

< 取材ポイント >

- ・朗読会は小説の舞台である福井藩主松平家の別邸である養浩館庭園で行われるため、臨場感に溢れます。
- ・庭園内をライトアップし、朗読会を演出します。
- ・朗読会には、『蛟竜逝キテ』の著者 赤神諒氏も同席予定です。
- ・榎木孝明氏、赤神諒氏は、ともに一乗谷 DISCOVERY PROJECT のメンバーです。
また、榎木氏においては、10月20日から福井で先行公開される映画「おしよりん」で、北乃きいさん演じる主人公むめ の父親役として出演いただいています。

【市広報媒体への掲載 ※○印】

広報紙	○	HP	○	LINE		face book	○	インスタ	○	Twitter	○
-----	---	----	---	------	--	-----------	---	------	---	---------	---

【一斉 FAX】



福井市防災センター地震体験装置のリニューアル

福井市防災センターは、防災知識の普及向上と防災意識の高揚を図ることを目的に、平成3年6月28日に開館し、これまで県内外から延べ50万人以上の方に来館していただいております。

当館に設置している地震体験装置は、設置後30年以上が経過し老朽化が進んでいることから、より高度で実践的な体験が行えるように装置をリニューアルし、10月1日(日)から運用を開始します。

記

【リニューアルの概要】

1 目的

迫真感のある体験が行えるようリニューアルし、住民の地震発生時の対応能力の向上を図る。

2 制作概要

- ・最新型の電動3軸型起震装置を採用し、これまでの油圧式の起震装置では再現ができなかった上下、斜め方向への動きが可能である。
- ・地震波形に基づく再現地震及び「震度1～7」のマニュアル加震が可能である。

※再現地震「福井地震、兵庫県南部地震、東北地方太平洋沖地震、熊本地震、長周期地震動」

3 学習方針

地震を体験してどう感じたか、どのような対策が必要であるかを自らが考える。

①レクチャー②トライ、③レビュー及び④(屋外)トライ・レビューの過程で、地震に対応するための知識と技術を習得する。

① レクチャー(基礎知識の習得)



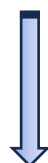
福井地震の概要や地域の特徴を学ぶとともに、シェイクアウトなどの地震発生時の対処方法を学習する。

② トライ(地震体験)



子供から大人まで年齢層に応じた状況を設定し、日常的な生活の中で身をもってどう行動するかを学習する。

③ レビュー(ふり返し)



タブレットで撮影した映像を活用し、自分の行動をふり返し、地震発生時の対応に関する知識と行動の定着を図る。

その後、火災が発生したとの想定で画面を消火体験に切り替え、疑似消火器を使った消火訓練を行う。

④ (屋外)トライ・レビュー

登下校時や自動車の運転中など、屋外で地震に遭遇した場合の地震対策を学習する。

4 事業経過

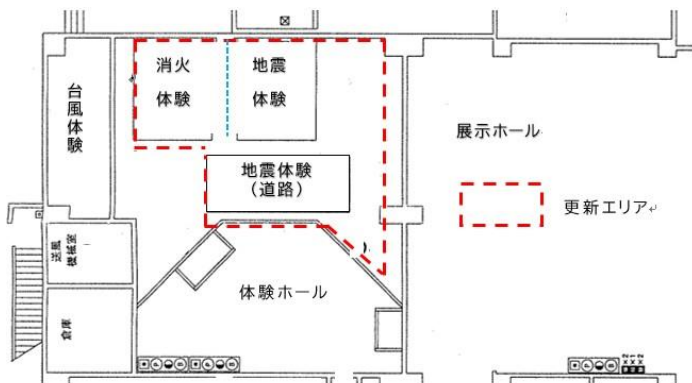
- (1) 令和4年11月～令和5年3月末 基本設計の作成
- (2) 令和5年4月～令和5年9月末 映像ソフト、体験プログラム等の制作及び設置工事
- (3) 令和5年10月1日(日) 運用開始

5 事業費 76,450,000 円

6 施設概要

体験ホール平面図

地震体験室



(イメージ図)

< 取材ポイント >

- ・来館者の年齢層(園児・児童・大人)に応じた複数の状況を設定することが可能となり、日常生活の中で地震発生時における対処方法を学習します。
- ・地震体験室内に100インチのスクリーンを設置し、投影する地震映像に「揺れ・音・光」を連動させることにより、視覚や聴覚等を通してリアルに地震を体験することができます。
- ・高齢者や障がいのある方にも安全に体験していただけるように手すりやスロープ、バリアフリー、点字などのユニバーサルデザインを取り入れています。
- ・レクチャー[基礎知識の習得]、トライ[地震体験]、レビュー[ふり返り]の3過程で地震に対応するための防災行動力を身に付けます。

【市広報媒体への掲載 ※○印】

広報紙	HP	○	LINE	face book	インスタ	Twitter
-----	----	---	------	-----------	------	---------

【一斉 FAX】



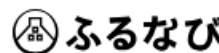
ふるさと納税の普及拡大に向けた取組について

ふるさと納税の寄附が集中する年末に向けて、ふるさと納税ポータルサイトを拡大します。
また、来春の北陸新幹線福井開業効果を見据えた本市返礼品のPRを強化します。

(1)新たなふるさと納税ポータルサイトの開設

1 ふるなび…高額所得者からの寄附割合が高く、寄附単価も高い。

(寄附受付開始時期：10月2日)



2 マイナビふるさと納税

…運営主体であるマイナビが新卒就職サイトなどを運営し、広く認知されており、急成長中のサイトである。

(寄附受付開始時期：11月)



【参考 現在のポータルサイト】

・ふるさとチョイス…ふるさと納税で一番の老舗サイトであり、掲載自治体数が最も多い。

(寄附受付開始：H27.12～)

・楽天ふるさと納税…楽天ユーザーからの寄附が多く、幅広い返礼品の寄附に繋がっている。

(寄附受付開始：R 3.10～)

(2)集中的な広告宣伝によるPR

1 北陸新幹線の特集ページ

…新幹線開業後の観光客増加に向け、本日から、本市の楽天ふるさと納税トップページに北陸新幹線特集ページを開設。なおページ内では、本市での宿泊に使えるトラベルクーポンや、本市を訪れた際、福井駅周辺で購入や飲食ができる返礼品などを紹介している。

2 広告によるPR

…寄附者の目に付きやすいよう、各ポータルサイトのトップページなどに特集ページを設けていく。視聴数の多いインターネットメディアを使った特集記事による本市返礼品の発信を行っていく。

【市広報媒体への掲載 ※○印】

広報紙		HP		LINE		face book		インスタ		Twitter
-----	--	----	--	------	--	-----------	--	------	--	---------

【一斉 FAX】

